

第93回宮崎大学眼科研究会

日本眼科学会専門医制度生涯教育認定事業 (59046)

- ◆日 時：令和6年1月20日（土） 15:30～19:15
- ◆会 場：ニューウェルシティ宮崎 大会議場 関之尾・霧島
〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1丁目2番地8 TEL：0985-23-3311
- ◆会 費：2,000円

単位受付のシステムが変わるため、今までの専門医更新登録証（金色のカード）は使用できません。

必ず新しい専門医更新登録証（青・白色のカード）をお持ちください。

～ プログラム ～

一般講演 I

15:30～16:40

座長 宮崎大学眼科 医局長 日高 貴子

- 1 「白内障手術後に発症し診断に難渋した周辺部角膜潰瘍の1例」
○吉満直哉、中馬秀樹、池田康博 ー宮崎大学眼科ー
- 2 「当院における線維柱帯切開術眼外法と眼内法の術後成績比較」
○戸高圭祐、日高貴子、中馬秀樹、池田康博 ー宮崎大学眼科ー
- 3 「当院における網膜動脈閉塞症の検討」
○上松健太郎、林田 陽、池田康博 ー宮崎大学眼科ー
- 4 「マクログロブリン血症から両眼CRVOを発症した2例」
○林 俊平、石合理崇 ー県立宮崎病院ー
- 5 「済生会日向病院眼科の紹介」
○堀之内みどり ー済生会日向病院ー
- 6 「アスリートの眼科メディカルチェック」
○松元寛樹 ー県立日南病院ー
- 7 「当院における翼状片に対する遊離結膜弁移植の手術成績」
○廣瀬英里香、大久保陽子、高岸麻衣、中崎秀二 ー宮崎中央眼科病院ー

※コロナ感染拡大防止対策を取らせて頂いております。（ソーシャルディスタンスを考慮した配置）
アルコール消毒・マスク着用の御協力何卒宜しくお願い致します。

座長 宮崎大学眼科 准教授 中馬 秀樹

- 8 「網膜色素変性症に対する白内障手術の長期成績」
○外山直樹¹⁾、向坂俊裕¹⁾、貝田智子¹⁾、森 洋斉¹⁾、池田康博²⁾、宮田和典¹⁾
—宮田眼科病院¹⁾ 宮崎大学眼科²⁾—
- 9 「ブリモニジン酒石酸塩・プリンゾラミドによる角膜混濁の1例」
○上田晃史、大谷伸一郎、子島良平、森 洋斉、宮田和典 —宮田眼科病院—
- 10 「強度角膜乱視眼の白内障術後屈折誤差に対し piggyback 補正後、良好な遠近裸眼視力が得られた1例」
○桑原直杜、松田和也、徳田祥太、森 洋斉、南慶一郎、宮田和典 —宮田眼科病院—
- 11 「新城眼科における涙道診療について」
○伊藤陽介 —新城眼科医院—
- 12 「明暗における IR filter SVS の測定～内部固視型 REF への活用～」
○西橋裕一郎、原田一道 —生目眼科クリニック—
- 13 「高齢者に対するマイクロパルス毛様体光凝固術について」
○風間成泰 —新城眼科医院—
- 14 「次世代型の眼科用超音波画像診断装置 ABSolu の使用経験」
○柘山 剩、上岡弥生、森高ルミ、橋之口かおり —柘山医院眼科—
- 15 「未熟児網膜症における最適なスクリーニング開始時期の検討」
○河野資之、石津正崇、田村千奈見、福島慶美、中馬秀樹、池田康博 —宮崎大学眼科—

特別講演

18:15～19:15

座長 宮崎大学眼科 教授 池田 康博

『様々な眼腫瘍に対する外科的治療の実際』

東京医科大学病院 臨床医学系 眼科学分野 主任教授 後藤 浩 先生

白内障や緑内障、網膜剥離などの眼疾患に対する外科的治療については、講演会や学会などを通じてそれなりの情報を得る機会もあると思います。しかし、眼腫瘍には多くの眼科医にとって馴染みが薄く、治療の実態もあまり知られていないかもしれません。

幸い、眼腫瘍の治療については多くの需要があるわけではありませんが、疫学的には今後とも減ることはなく、高齢化社会においてはむしろ増加傾向にある疾患もあります。良性腫瘍の場合は治療までに時間的余裕がありますが、悪性腫瘍については正しい診断とともに、できるだけ早期の段階で適切な治療を行わなければ不幸な転帰を辿ることもあります。

本講演では代表的な眼腫瘍の治療の実際、特に悪性腫瘍に対する外科的治療について症例を提示しながら、日頃、演者が行っている手技を中心に紹介させていただきます。眼腫瘍に対する治療の一端を知っていただければ幸いです。